

被爆70年 15年度広響プログラム

平和の祈り音に乗せて

広島交響楽団は、被爆70年を迎える2015年度プログラムを「平和と希望への祈り」の年間テーマで掲げる。中心に据えるのは、不屈の作曲家ベートーベンの音楽。国際色豊かな指揮者やソリストとともに、被爆地から音楽で平和を発信する。

(余村泰樹)

定期演奏会は、12月にも組んで例年より1回増やし、8月を除く毎月の11回を予定。幕開けの4月は、音楽監督・常任指揮者の秋山和慶のタクトで、ベートー

<定期演奏会の日程>

回	日程	指揮/ソリスト	曲 目
348	4・17	秋山和慶	ベートーベン：序曲「レオノーレ」第3番／同：交響曲第4番／プロコフィエフ：歌劇「戦争と平和」からの交響組曲(クリストファー・パーマー編曲)
349	5・22	ラン・シュイ/リチャード・ヨンジェ・オニール(ビオラ)	ベートーベン：交響曲第1番／ベルリオーズ：交響曲「イタリヤのハロルド」
350	6・12	ユベール・スターン/佐藤卓史(ピアノ)	ベートーベン：ピアノ協奏曲第5番「皇帝」／シューマン交響曲第2番(マラー版)
351	7・24	ジョセフ・ウォルフ/川崎洋介(バイオリン)	モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」序曲／ブルッフ：スコットランド幻想曲／ベートーベン：交響曲第6番「田園」
352	9・15	秋山和慶/諏訪内晶子	モーツァルト：歌劇「ドン・ジョバンニ」序曲／同：バイオリン協奏曲第5番「トルコ風」／ベートーベン：交響曲第7番
353	10・30	アラン・ブリバエフ/マーティン・スタンツェライト(チェロ)安保恵麻(ビオラ)	ベートーベン：交響曲第2番／R. シュトラウス：交響詩「ドン・キホーテ」
354	11・10	フォルクハルト・シュトイデ(コンサートマスター)	モーツァルト：歌劇「魔笛」序曲／メンデルスゾーン：バイオリン協奏曲／ベートーベン：交響曲第5番「運命」
355	12・15、16	大植英次/佐久間聡一(バイオリン)	モーツァルト：バイオリン協奏曲第3番／マラー：交響曲第5番
356	1・24	秋山和慶/安藤赴美子(ソプラノ)藤井美雪(アルト)高橋淳(テノール)トーマス・パウアー(バリトン)ひろしま特別合唱団(合唱)	マラー：さすらう若人の歌(バリトン)／ベートーベン：交響曲第9番「合唱」
357	2・19	高関健	ベートーベン：「献堂式」序曲／嵯峨富美子：摂氏4000度からの未来／ショスタコービッチ：交響曲第10番
358	3・11	アンドリス・ボーガ/ミシエル・ダルベルト(ピアノ)	ベートーベン：ピアノ協奏曲第4番／プロコフィエフ：交響曲第1番「古典交響曲」／ストラビンスキー：バレエ「火の鳥」組曲(1919)

開演は午後6時45分、1月24日のみ午後3時。会場は広島文化学園HBGホール

ベートーベン中心に展開



秋山和慶



マーティン・スタンツェライト

ーベンの交響曲第4番やプロコフィエフの歌劇「戦争と平和」からの交響組曲などを奏でる。秋山は9月に第7番、来年1月には定演では21年ぶりの第9番「合唱」でベートーベンの交響曲を指揮。「歴代最高の第9を目指す」と意欲を燃やす。

日中韓が国境を越えて響き合うのは5月。中国人指揮者ラン・シュイと韓国系米国人ビオラ奏者リチャード・ヨンジェ・オニールを迎える。

12月は、広島市佐伯区出身の指揮者大植英次が登場。広響第1コンサートマスター佐久間聡一が定演初ソリストを務め、同一内容で2日間公演する。

来年2月は、広島市出身の作曲家嵯峨富美子が被爆70年のために生み出した「摂氏4000度からの未来」を広響3代目音楽監督の高関健が導く。同3月には、2013年に世界的チエロ奏者ミッシェル・マイスと共演し、存在感を示したラトビア人指揮者アンドリス・ボーガが、フランスピアノ界の巨匠ミシエル・ダルベルトと相まみえる。ソリスト陣では、9月のプレミアム定演に出演するバイオリニストの諏訪内晶子が目を引く。モーツァルトのバイオリン協奏曲「トルコ風」にどんな息吹を吹き込むか注目したい。



諏訪内晶子 (©吉田民人)



大植英次 (©飯島隆)

10月は広響首席奏者のマーティン・スタンツェライトの演奏を披露する。

定演以外も見逃せない。8月には東京・サントリーホールで初公演。直前に広島で開く「平和の夕べ」コンサートと同じ内容で、世界的ソリストと秋山が共演する。全4回のデイスカバリ・シリーズは、生誕150周年を迎えるシベリウスの全交響曲を演奏。北欧音楽を得意とする広響が、その深化を披露する。